

2021年度事業計画

北海道エアポート株式会社

取組方針及び目標値

取組方針

- 7空港上下一体運営の実質的な初年度である2021年度において、安定した事業実施体制を確立し、安全・安心かつ効率的な空港運営を推進します。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止を徹底するとともに、地域との緊密な連携の下で、withコロナ・afterコロナにおける航空・観光需要の回復に向けた取組みを進めます。
- 将来に向けた成長基盤を確立すべく、空港施設の利便性・安全性向上に向けた施策を推進します。

旅客数等の目標値

		新千歳	稚内	釧路	函館	旭川	帯広	女満別	7空港計
旅客数(万人)	国内線	1,282.5	12.0	53.6	100.5	68.8	43.4	52.9	1,613.9
	国際線	51.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.4
	合計	1,333.9	12.0	53.6	100.5	68.8	43.4	52.9	1,665.3
貨物量(百t)		1,224	0.5	12	33	32	10	8	1,320

損益計画(億円)

営業収益	540
売上総利益	293
営業費用	513
営業損益	▲221
EBITDA(注)	▲13

(注) 営業利益に減価償却費を足し戻した経営指標

目標達成に向けた主な取組み①

安定した事業実施体制の確立、安全・安心かつ効果的・効率的な空港運営の推進

■ 空港運営事業・ビル施設事業等

- 空港運営業務のノウハウ承継・教育訓練の充実、モニタリングの着実な推進等による7空港の安定した事業実施体制の確立
- 空港ビル会社の統合等を通じた空港運営事業とビル施設事業の一体的な経営・運営体制の確立
- 「北海道オペレーションセンター」の機能向上等、7空港一体運用による安全・保安の維持・向上

■ 地域との連携・共生

- 7空港一体運営協議会及び空港別協議会の運営を通じた、地域一体での空港運営体制の構築
- 地元自治体の要望を踏まえた地域共生事業の着実な推進

航空・観光需要の回復に向けた取組み

■ 航空ネットワークの拡大

- 7空港での一体的なエアライン営業およびマーケティング戦略の推進
- 料金体系、割引制度・インセンティブを活用した運休便復便を含む航空需要回復に向けた取組みの推進
- 北海道と日本各地・世界を繋ぐ物流確保に向けた旅客機貨物便の誘致

■ 広域観光の振興

- 7空港の各エリアにおいて、周辺自治体、DMO、観光・交通事業者等、地域の観光関係者と一体となった施策推進体制の確立
- 観光コンシェルジュとしての顧客満足度の高い情報提供の実現に向けた7空港全てにおける体制の構築
- HOKKAIDO LOVE!のSNS等のWebインフラにおいて、顧客満足度の高い情報提供による認知度の向上を実現
- 充実した観光コンテンツや重点ターゲットに訴求する観光商品のプロモーションの充実による来道者の増加
- 日本国内や海外の強みを持つ民間事業者との連携強化による顧客増加の実現

目標達成に向けた主な取組み②

空港施設の利便性・安全性向上に向けた施策の推進

■ 7空港共通

- 安全・安心な空港運営に資する運営権対象施設に係る機能維持投資実施計画の見直し

■ 新千歳空港

- コロナ禍により国際便が大幅に減便している状況を積極的に活用した国際線ハイドラント(埋設管給油方式)の延伸
- 保安検査場の混雑緩和、JR新千歳空港駅からの縦動線改善等、既存施設の利便性向上のための国内線旅客ビル内部改修の設計
- C駐車場の拡張による駐車台数の増強
- エネルギーセンターの新築に係る設計
- 狭隘化及び老朽化が進んでいるケータリング施設移設の設計
- B滑走路改良工事の設計



ハイドラント給油

■ 稚内空港

- 旅客ビルのトイレ改修、エスカレーター設置等、既存施設の利便性向上のための施設整備計画の策定

■ 釧路空港

- 駐車場不足を解消するため、1,000台超の車両を収容できる駐車場の拡張
- 保安検査場の拡張等、利便性向上のための国内線旅客ビル内部改修の設計

■ 函館空港

- 保安検査場の拡張等、利便性向上のための国内線旅客ビル内部改修の設計
- 駐車場拡張、カーブサイド再編等による利便性・安全性向上のための施設整備に係る設計

■ 旭川空港

- 利便性向上のための駐車場拡張の設計
- 誘導路改良及び誘導路灯火のLED化の設計

■ 帯広空港

- 利便性向上のための駐車場の拡張
- 立体駐車場を含めた駐車場整備計画及びカーブサイド再編等による利便性・安全性向上のための計画策定及び設計

■ 女満別空港

- 保安検査場の拡張等、利便性向上のための国内線旅客ビル内部改修の設計

投資計画

FY2021投資計画		機能維持投資	活性化投資	合計	主な投資内容
投資額合計		45.0億円	13.2億円	58.2億円	
7空港共通	エアサイド	0.0億円	0.0億円	2.4億円	<p><機能維持投資> エアサイド：空港基本施設、空港用地の維持管理・更新等 ランドサイド：旅客ビル施設に関する修繕・更新、テナント関連工事、ネットワーク整備等</p> <p><活性化投資> 全空港：2022年度以降に実施する施設整備にかかる基本計画・設計等 【個別空港の主な投資】 7空港共通：デジタルマーケティング関連投資 新千歳空港：国際線ハイドラント拡張工事、C駐車場拡張工事 釧路空港：駐車場拡張工事 帯広空港：駐車場拡張・カーブサイド改良工事</p>
	ランドサイド	1.0億円	1.4億円		
新千歳	エアサイド	7.0億円	2.4億円	44.9億円	
	ランドサイド	30.6億円	4.9億円		
稚内	エアサイド	0.2億円	0.0億円	0.6億円	
	ランドサイド	0.3億円	0.1億円		
釧路	エアサイド	0.1億円	1.6億円	2.6億円	
	ランドサイド	0.7億円	0.3億円		
函館	エアサイド	0.4億円	0.1億円	2.8億円	
	ランドサイド	2.0億円	0.3億円		
旭川	エアサイド	1.0億円	0.1億円	1.8億円	
	ランドサイド	0.8億円	0.0億円		
帯広	エアサイド	0.0億円	1.7億円	2.2億円	
	ランドサイド	0.5億円	0.0億円		
女満別	エアサイド	0.0億円	0.0億円	0.9億円	
	ランドサイド	0.4億円	0.5億円		